

SCSI アレイコントローラカード PG-143B ご使用前に

(内蔵ハードディスクユニット PG-HDH85A / PG-HDH85B を接続する際の注意事項)

本書は、SCSI アレイコントローラカード PG-143B と内蔵ハードディスクユニット (PG-HDH85A / PG-HDH85B) を接続する際の注意事項を記載しております。本構成にてご使用になる前に必ずお読みください。

2001 年 5 月 富士通株式会社

フロッピィディスクについて

本製品に添付されている以下のフロッピィディスクは、内蔵ハードディスクユニット (PG-HDH85A / PG-HDH85B) を SCSI アレイコントローラカード (PG-143B) に接続して、アレイ構築 (RAID 構成の作成) 等を行う際に必要となります。本フロッピィディスクをご使用の際は、書き込み保護 (ライトプロテクト) されていることをご確認してください。

表 1

フロッピィ名称	フロッピィ枚数
PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk (Japanese)	1 枚
PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk (English)	1 枚

* 内蔵ハードディスクユニット PG-HDH85A / PG-HDH85B は 上記フロッピィディスクの V10.0L10 以降が必要となります。複数のバージョン・レベルはお持ちの場合、新しいバージョン・レベルを使用してください。

アレイ構築 (RAID 構成の作成) 時の注意事項

EzAssist(BIOS Utility)を使用する場合

『SCSI アレイコントローラカード PG-143B 取扱説明書』に従ってください。

* 「PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk」は新しいバージョン・レベルを使用してください。

GAM(Global Array Manager)を使用する場合

(1) GAM がインストールされていない場合

『SCSI アレイコントローラカード PG-143B 取扱説明書』に従って、GAM をインストールしてください。

* 「PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk」は最新のバージョン・レベルを使用してください。

(2) GAM が既にインストールされている場合

GAM クライアントを起動し、GAM のバージョンを Help メニューから確認してください。
確認したら GAM クライアントは終了してください。

フロッピィディスクドライブに PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk (Japanese) を挿入し、「スタート」ボタンから「ファイル名を指定して実行」を選択し、下記の手順に従ってください。

Version 2.xx の場合：

「名前」に “A:¥CONFIGNT.BAT” と入力し、「OK」をクリックします。

Version 3.xx の場合 :

「名前」に "A:¥CONFIG2K.BAT" と入力し、「OK」をクリックします。
コマンドプロンプトが表示されたら[ENTER]キーを押します。GAM の設定ファイルのコピーと変更が開始されます。
「Changing configuration file completed successfully.」と表示されたら、[ENTER]キーを押します。
システムの再起動を行ってください。

ServerWizard を使用して OS をインストールする場合

ServerWizard V2.0L22 (H200 用) および V2.0L24 (N400 用) を使用して、アレイ構築および OS のインストールを行う場合には下記の手順に従ってください。

上記以外のバージョン・レベルの場合には、従来手順でアレイ構築および OS のインストールが可能です。

既に運用中のシステムについては、ServerWizard で OS を再インストールする必要はありません。

ハードディスクユニット PG-HDH85A / PG-HDH85B を接続しない場合は、従来手順でアレイ構築および OS のインストールが可能です。

(1) 新規インストールを行う場合

セットアップを行うサーバに、ServerWizard CD-ROM をセットして起動します。

「セットアップ」メニューから「新規」を選択します。

機種名の選択の際に、Enter キーを押して「FD から機種情報ファイルを読み込む」を選択します。

「リードディレクトリに機種情報ファイルの入ったフロッピディスクを挿入してください」とメッセージが表示されます。

「PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk (Japanese)」をフロッピードライブに挿入し、Enter キーを押します。フロッピの情報が読み込まれます。

再び、Enter キーを押すと、機種情報のリストが表示されます。

使用する機種情報を選択します。

[PRIMERGY H200 でセットアップを行う場合]

「PRIMERGY H200 V2.0 L22A」を選択します。

[PRIMERGY N400 でセットアップを行う場合]

「PRIMERGY N400 V2.0 L24A」を選択します。

以降、マニュアルに従って通常の操作で設計を行います。

設計が終了したら、ServerWizard に添付の「サーバ情報ファイル登録用ディスク」をセットし、設計内容を保存します。「PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk (Japanese)」に、そのまま設計内容を保存しないよう注意してください。

マニュアルに従って通常の操作でサーバのセットアップを行います。セットアップの途中で「修正モジュールを適用します。

「HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk」

を挿入して、「OK」を選択してください。」

と表示されますので、「PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk (Japanese)」をフロッピードライブに挿入し、Enter キーを押します。

以下のメッセージが表示されます。

「サーバ情報ファイルが登録されているフロッピディスクを挿入して、「OK」を選択してください。」

このとき、で保存した「サーバ情報ファイル登録用ディスク」を再び挿入し、Enter キーを

押します。

アレイの構築処理が開始されます。

以降は、セットアップ画面に表示されるメッセージに従ってサーバのセットアップを行います。(数回、 、 の手順を行います)

(2) 「読み込み」インストールを行う場合

別マシンにて DesignMagic を起動し、サーバ設計を選択します。

「機種名(M)」プルダウンリストの をクリックして、「機種情報ファイルの読み込み」を選択してください。

ファイルを開く画面が表示されます。

「PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk (Japanese)」を挿入し、「ファイル名」に "A:¥"と入力します。機種情報ファイルのリストが表示されます。

使用する機種情報ファイルを選択します。

[PRIMERGY H200 のセットアップを行う場合]

"Pg_h200.mpd" を選択します。

[PRIMERGY N400 のセットアップを行う場合]

"Pg_n400.mpd" を選択します。

[詳細]ボタンをクリックし、ファイルのバージョン・レベルを確認します。

[PRIMERGY H200 のセットアップを行う場合]

"V2.0 L22A" と表示されることを確認します。

[PRIMERGY N400 のセットアップを行う場合]

"V2.0 L24A" と表示されることを確認します。

以降、マニュアルに従って通常の操作で設計を行ってください。

設計が終了したら、「サーバ情報ファイル登録用ディスク」をセットし、設計内容を保存します。このとき、「PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk (Japanese)」に、そのまま設計内容を保存しないよう注意してください。

セットアップを行うサーバに、ServerWizard CD-ROM をセットして起動します。

「セットアップ」メニューから「読み込み」を選択して、で保存した「サーバ情報ファイル登録用ディスク」の内容を読み込みます。

マニュアルに従って通常の操作でサーバのセットアップを行います。セットアップの途中で修正モジュールを適用します。

「HDD Sizing File(MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk」

を挿入して、「OK」を選択してください。」

と表示されますので、「PG-143B HDD Sizing File (MYLEXDRV.SIZ) Setting Disk (Japanese)」をフロッピードライブに挿入し、Enter キーを押します。

以下のメッセージが表示されます。

「サーバ情報ファイルが登録されているフロッピディスクを挿入して、「OK」を選択してください。」

このとき、で保存した「サーバ情報ファイル登録用ディスク」を再び挿入し、Enter キーを押します。

アレイの構築処理が開始されます。

以降は、セットアップ画面に表示されるメッセージに従ってサーバのセットアップを行います。(数回、 、 の手順を行います)

Windows NT 及び、Windows 2000 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。